

記

一、交渉状況

當業調停官ノ斡旋ニヨリ次ノ通り會見セリ
 五月二日午後三時當業調停課ニ於テ會社側遠藤工場長等議
 團側代表小川猛、支店ニハ會社ハ景ニ書留郵便ヲ以テ送附
 セル回答事項中ノ二年以上勤続者日給一割減給ノ件ハ鐵面
 スルニモ其他ハ考慮ノ余地ナキ旨ヲ以テシ小川ハ特ニ七名故
 首ノ件撤回ヲ要求シタルヲ結局兩者主張ヲ固執シテ不調ニ
 終リタリ

又翌三日午後四時ヨリ所轄日本堤警察署ニ於テ前記兩者ノ會
 見アリ遠藤ヨリハ

- 一、昭和二年八月三十日制定ノ労資協約ハ今後無効トスルニト
- 一、中山秀一外七名ハ解雇スルコト
- 一、保険料ハ保険法ニヨリ其分各半額負担ノコト

一、争議中ノ日給ハ六割ヲ支給スル

二、會社側

社長以下重役連中ハ所在ヲ明クニセス極秘中ニ對策ヲ協議シ
 ツ、アルカ依然強硬ナル態度ヲ示シ殊ニ五月二日ニハ工場内
 ニ置キタル各商店ノ預品タル綿布モスリン等製呂材料ヲ他ノ
 同業者ニ依嘱スヘク自動車拾數台ヲ以テ撤出シタリ
 高既報會社ノ前ニ於テ争議團對手段組ノ故斗後所轄署ノ警告
 ニヨリ手段組ノ物品看守員ハ客月三十日以降引去リタリ

三、争議團側

五月二十日ニハ争議團幹部等連絡ニテ自由法曹團布被辰治
 上村進、中村高一、神道寅次、四名苑食同盟、現場ヲ視察
 ノ上當局ニ抗議シテ解決ニ奔走スヘキヲ速ニ引上ケタリ
 又五月一日ニハ全協系等ニ合法團體等カメーデー行列ヲ導キ